

平成19年度

いぶり火山マイスター検討委員会専門部会(第1回)議事録

議事2 部会長選出

北海道大学名誉教授 岡田弘氏を全員賛成で選出

議事3 意見交換

委員からの主な発言

(北大名誉教授 岡田弘)

- ・火山マイスターを認定するためには、力量を何回か継続して見ていかないと判断できない。
- ・火山マイスターとなるために知っておくべき基本的事項（火山の特性、有珠の見どころ、安全対策など）を整理しておくべき。

(北大名誉教授 宇井忠英)

- ・火山マイスターの人数を何人にするかは、最初から考えるべきではない。
- ・火山学習会であっても自然の中での活動なので、動植物などに関する質問も多い。こうしたことにも答えられる知識も必要。
- ・他の団体の学習会などの参加状況なども記録して、火山マイスター認定の参考にしていくといい。

(三松正夫記念館館長 三松三朗)

- ・人材は、勉強会などに参加したり、フィールドでの活動を通じて徐々に育っていくもの。フィールド活動で見どころも分かってくる。
- ・ガイドブック、テキスト的なもの必要では。

(有珠火山防災会議協議会 阿部正義)

- ・10/12防災協議会主催、10/13伊達市主催の有珠学習会を開催する予定。

(洞爺ガイドセンター代表 小川祐司)

- ・火山マイスターのレベルは、求める理想と、なり手の力量（現実）との引き合いで決まるもの

だと思う。

・一人で何でも知っているのではなく、何人かの得意分野が合わさって一つの完成した火山マイスターとなるような仕組みを検討できないか。

まとめ

- ・ 当面の専門部会の作業としては、
 - ①火山マイスターとなるためのポイント整理
 - ②他の団体の学習会とのタイアップを主に進めることとする。